

TERRE ARmee
SUSTAINABLE TECHNOLOGY

軽量盛土材の使用

Name
Date

軽量盛土材の適用について

～軽量盛土材の用途と考え方～

【ポイント】

- ①地盤への影響を低減出来る
- ②円弧すべり検討の安全率を向上出来る。
- ③高さを追加する際、既存の補強材のまま施工可能



軽量盛土材の適用について

～軽量盛土材料適用時の注意点～

【解説】

主な目的は地盤に対する影響を軽減すること

そのための手法としては以下の2つ

- ①テールアルメ盛土材に軽量盛土材料(カルストーン・スーパーソル等)を使用する方法
- ②テールアルメ上部に軽量盛土工(FCB・EPS等)を施工することで全体重量を軽減する方法

【軽量盛土材】さがみ縦貫道路 寒川北IC改良（神奈川県寒川町）



発注者:

国土交通省

横浜国道事務所

施工時期: 2013年3月

施工規模:

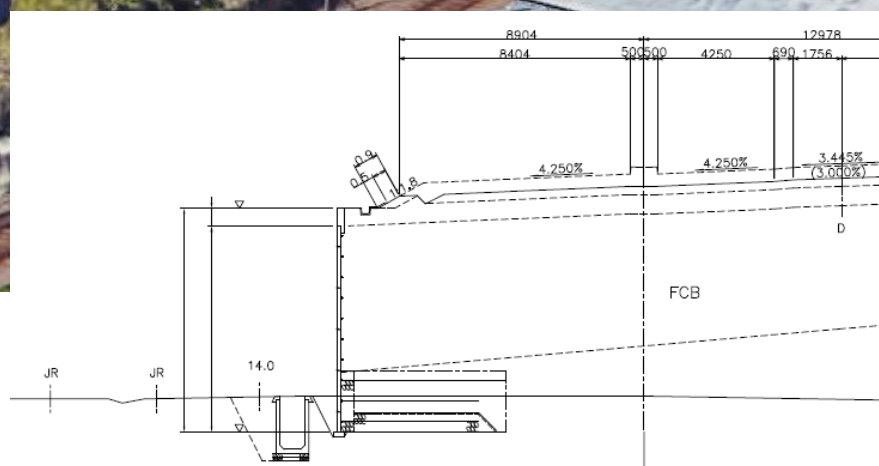
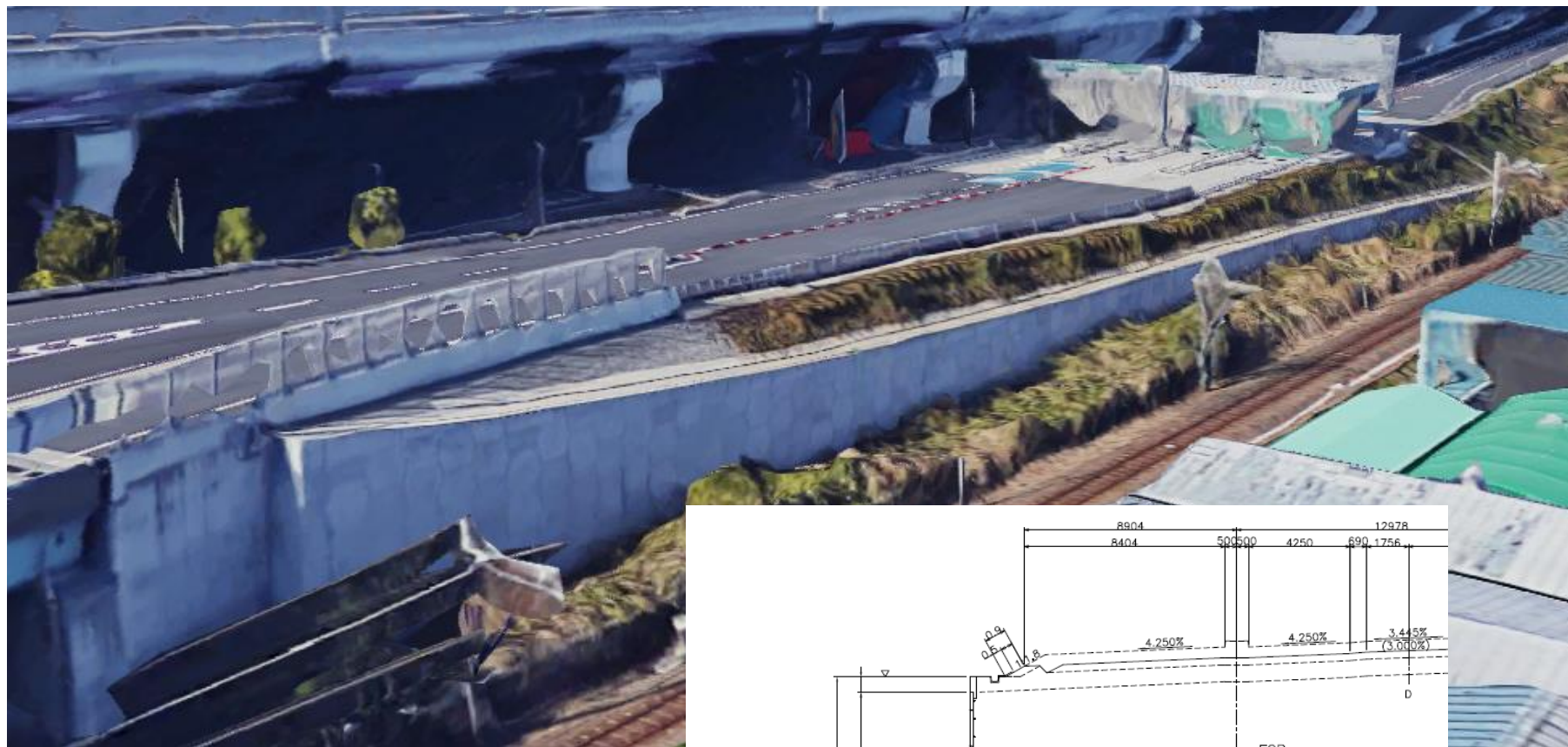
面積 638m²

最高壁高 Hmax=11.3m

特徴:

橋梁ランプ部に採用された事例。鉄道（JR相模線）が隣接しており、盛土構築による、挙動軽減のため、テールアルメ上部にFCB工法が併用された施工例

【軽量盛土材】さがみ縦貫道路 寒川北IC改良（神奈川県寒川町）



【軽量盛土材】宮崎10号(都城道路)平塚地区(宮崎県都城市)



発注者:

国土交通省

宮崎河川国道事務所

施工時期:2011年8月

施工規模:

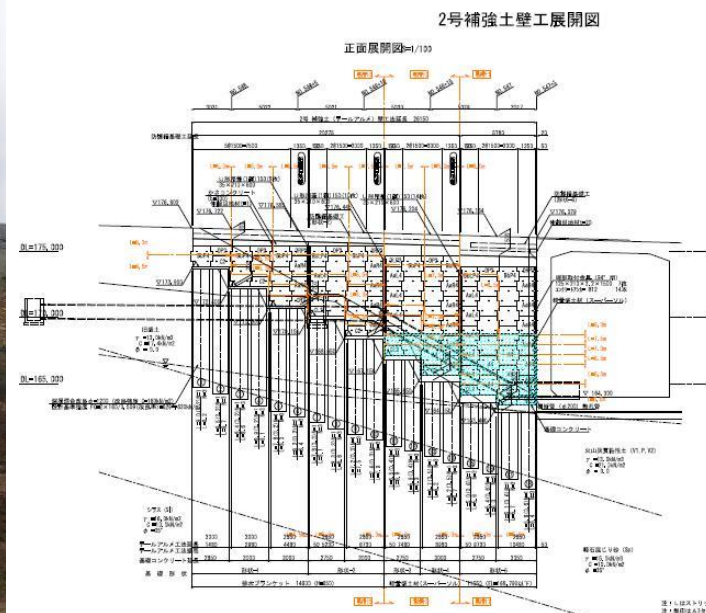
面積 165m²

最高壁高 Hmax=13.0m

特徴:

橋台背面部の基礎地盤が軟弱であったため、一部の盛土材料をスーパーソル ($\gamma=15\text{KN/m}^3$)とした事例。基礎地盤の強度に即して、軽量盛土材の採用厚さを決定した

【軽量盛土材】宮崎10号(都城道路)平塚地区(宮崎県都城市)



注：1. 図面は標準仕様による。
2. 現場实际情况により変更あり。

【軽量盛土材】市道62号延伸道路(神奈川県伊勢原市)



発注者:
伊勢原市役所

施工時期:2017年7月

施工規模:
面積 30m²
最高壁高 Hmax=2.5m

特徴:
基礎地盤改良の改良軽減として、**軽量盛土材 (カルストーン)**を使用した事例。軽量盛土材 ($\gamma=11\text{KN/m}^3$)を使用することで、地盤改良を削減した事例。

【軽量盛土材】水島港水島玉島地区臨港道路(岡山県倉敷市)



発注者：
国土交通省
宇野港湾事務所

施工時期：2015年8月

施工規模：
合計面積 288m²
最高壁高 Hmax=6m

特徴：
盛土材は高炉スラグ
($\gamma=14\text{KN/m}^3$)
塩害対策として
ハレーサルト壁面材が採用

【軽量盛土材】江津道路 上條西改良工事(島根県浜田市)



発注者：
国交省 中国地整
浜田河川国道事務所

施工時期：2001年4月

施工規模：
合計面積 678m²
最高壁高 Hmax = 14.25m

特徴：
すべり抑制のため盛土材に
クリンカーアッシュを使用
($\gamma = 14 \text{KN/m}^3$)